



かしこく
やさしく
すこやかに

学校だより



花園小
R6, 1, 24
文責 河野

新年のスタートにあたい…

令和6年(2024年)がスタートしました。年明け早々でしたが、石川県を中心とし、北陸地方では甚大な災害が発生しました。多くの尊い命が奪われ、雪が降りしきる厳寒の中での避難生活を思うと心が痛みます。私自身も熊本地震を経験し、長い間避難生活を送りましたが、想像以上だと感じます。これまで、熊本地震の時は県外からたくさんの心温まる支援をいただき、元気をもらいました。復旧・復興には長い時間がかかるとは思いますが、私たちにできることをしっかりと考えていきたいと思えます。

さて、3学期の始業式では右のような内容(抜粋)を話しました。3学期は短いです。一日一日を大切に過ごしてほしいですね。



(初略)

さて、3学期がスタートしました。ここで、文字を紹介します。

「行く」「逃げる」、次の言葉は何でしょう？

「去る」

この3つの言葉を聞いたことがありますか？

これは、1月・2月・3月のことを、このような言葉で言うときがあります。

1月は正月があり、あっという間に過ぎて行きます。

2月は28日、または29日しかなく短いです。

3月は年度終わりの月で、とても忙しく1か月がすぐに過ぎ去ります。

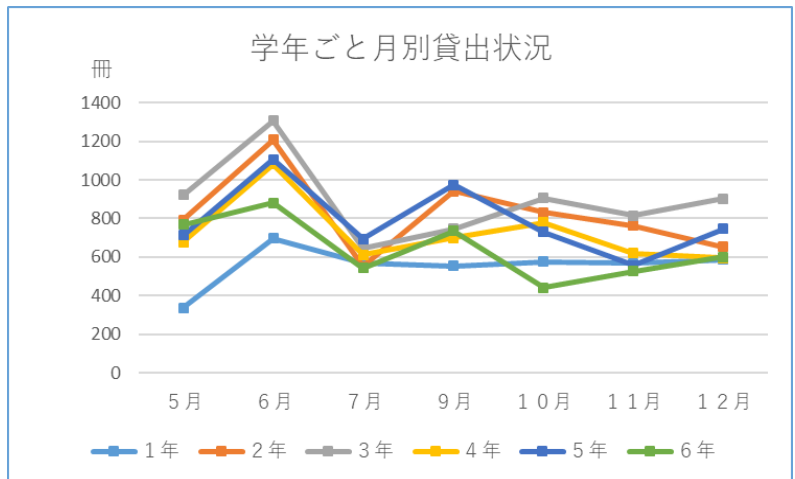
そのようなことを意味しています。

3学期は、このような文字が表す通り、52日と短いです。6年生は、卒業を迎えます。

新しい目標を目指して、一日、一日を大切にしてほしいと思えます。

本は“心の栄養”です！

右は、5月からの花園小図書室での本の貸出状況です。各学年、雨が多い6月に数が増えていることが分かります。全学年の貸出数は合計3万冊を超えたところですが、読書には個人差があり、本に親しむことが難しい状況にあるかもしれません。自分が興味をもったものから読み始めることも大切です。本校では、月一回、ボランティアの方々による読み聞かせも始まりました。“本は心の栄養”とも言います。親子で読書という時間を設けられてもいいかもしれませんね。



給食記念週間

戦争が終わって、中断されていた給食が再開されたのは1947年12月24日のことです。この日、東京都内の小学校でアジア救済公認団体の援助により、給食用物資の贈呈式が行われたことを記念し、12月24日が「学校給食記念日」と定められました。現在、この日は冬休みの関係で1月24日を給食記念日としています。また、全国で1月24日～1月30日までを学校給食週間としています。子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。本校でも、この記念週間に先立ち、1月19日(金)の児童集会において、給食集会を開きました。集会はリモートでしたが、給食委員による先述したような給食の歴史などの発表が行われ、普段当たり前のように食べている給食について考える貴重な機会となりました。また、授業では各学年、学級

活動において、鶴城中学校の栄養教諭 川口志穂先生に来ていただき、計画的に「食に関する指導」を行っています。



食に関する授業の様子；学級活動

- Q1, 日本で学校給食が始まったのは、いつでしょうか？
 Q2, 日本で最初に給食が始まったのは、どこでしょうか？
 Q3, 学校給食が始まった理由は、何でしょうか？
 Q4, 日本の最初の給食は、どんなものだったのでしょうか？
 Q5, 学校給食が再開して30年たった1976年(昭和51年)に給食のメニューに変化がありました。それは、何でしょうか？
 (正解は下欄)

- A1, 1889年(明治22年) A2, 山形県
 A3, 学校に弁当を持ってこられない子どもたちがいたから
 A4, おにぎりや焼き魚 A5, ご飯がでるようになった